

解答

- 一 (1) 絶好 (2) 屋外 (3) 痛感 (4) 細心 (5) 慣〔れた〕 (6) かこう
 (7) いっさい (8) とうちよう (9) まじ〔えて〕 (10) そ〔らせて〕

- 二 (1) ウ (2) オ (3) ア (4) エ (5) イ

- 三 (1) すずき、秋 (2) 菜の花、春 (3) はえ、夏 (4) 大根、冬 (5) 柿、秋

- 四 (1) すずめ (2) ねこ (3) 犬 (4) 牛 (5) 馬

- 五 問一 (ア) 首 (イ) 目
 問二 ウ
 問三 ウ
 問四 笑いもの
 問五 はじめ…自分の席か / おわり…としている
 問六 A イ B ア C エ
 問七 ウ
 問八 エ
 問九 ウ
 問十 エ
 問十一 ウ
 問十二 イ
 問十三 イ

六

- 問一 エ
 問二 人間ぬぎの新しい自然
 問三 科学技術力
 問四 (ア)、(エ)
 問五 人間はとりあえず特別だ（という考え方）
 問六 ウ
 問七 野生生物
 問八 (牧場を作ることによって) 自然の生態系を改変して野生生物の生息地を奪うから。
 問九 (自然の) 接続可能な利用 (をすることが大切である)。
 問十 B イ C オ D エ E ア
 問十一 イ、オ

解説

五

- 問二 — 線部①の前にある「僕らは近づいてくる」→「感じだったんだと思う。」の部分から、「サンちゃんがどんなにひどいいたずら書きをされたのか」という記述を含む選択肢イが選べます。

問十三

本文には、終わりの会の様子が丁寧に描かれています。発表者の口調や、その言葉を聞く子どもたちの様子、僕の気持ち等を通じて、読者がその場にいるように感じながら読み進めることができるので、選択肢イが選べます。

問六

——線部⑥以降に「トンチンカンな考え」である理由が述べられています。「人間の生存と遊びや趣味や贅沢が区別できるとの考えほど傲慢な思想はない」、「一万数千年前の狩猟採集生活をしてきた先祖に比べれば、ほとんどすべての現代人は贅沢三昧の暮らしをしているに決まっている。」、「人は生き延びるためにのみ生きていくわけではない。人生に何らかの楽しみを見い出して生きていくのだ。」等の記述から、選択肢ア、イ、エの内容がふさわしいことがわかるので、ふさわしくないものは選択肢ウになります。

問十一

第一段落に述べられている内容から、選択肢イが筆者の考えにあっていることがわかります。また、本文の終わりで、種を絶滅させるのはさけるべきで、重要なのは、目的によって自然の利用に価値付けをすることではなく持続可能な利用なのだと述べていることから、選択肢オも選べます。